

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2017年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習会場等について

- (1) 練習は、プログラム記載の指定された会場で、「練習会場（ウォームアップ場）の使用について」に従い実施すること。
- (2) 主競技場（NDソフトスタジアム山形）内での練習は、競技役員の手配で、その他の会場については、ウォームアップ場係の手配に従うこと。特に、投てき練習については、監督の付き添いのもと事故防止に努めること。

3 競技場について

- (1) 競技場の競走路および助走路は全天候舗装である。
- (2) 競技用靴のスパイクの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。これらのスパイクの直径は、少なくとも長さの半分が4mm四方の定規に適合し、数は11本以内とする。（競技規則第143条2・3・4・5・6）

4 招集について

- (1) 招集所は、北側スタンド裏に設ける。
- (2) 招集開始時刻（点呼開始時刻）及び招集完了時刻（移動開始時刻）は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。種目別招集開始時刻・招集完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照のこと。

種別	招集時刻	予 選		準 決 勝 ・ 決 勝	
		招集開始	招集完了	招集開始	招集完了
トラック競技 (4×400mRを除く)	1～3組	30分前	15分前	30分前	15分前
	4～6組	20分前	5分前		
4×400m リレー	1～2組	30分前	15分前	30分前	15分前
	3～4組	20分前	5分前		
	5～6組	10分前	5分過		
決 勝					
跳躍競技（棒高跳を除く）		*	*	60分前	45分前
棒 高 跳		*	*	75分前	60分前
投てき競技 (女子ハンマー投を除く)		*	*	75分前	60分前
女子ハンマー投		*	*	45分前	30分前
混 成 競 技		トラック競技		30分前	15分前
		フィールド競技		45分前	30分前

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとして処理する。
- (4) 招集の手順
 - (ア) 競技者は、前記(2)に示した招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際、ナンバーカード・競技用靴・衣類・持ち物等の点検を受けること。
 - (イ) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器、その他外部と連絡可能な電子機器類の競技区域内で所持または使用することを禁止する。あらかじめ学校関係者に預けておくこと。招集所や競技場所でこれらのことが明らかになった場合は、主催者で預かり、競技終了後に返却する。（競技規則第144条3.(b)に該当。）
 - (ウ) 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

- (エ) 代理人による招集の最終確認は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻前までに「2種目同時出場届」を招集所に提出すること。なお、当該競技者でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後ただちにフィールド種目の競技場所へ移動し、担当競技役員に申し出ること。また、フィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前、当該競技役員にその旨を申し出ること。

(競技規則第142条3.を確認するため。)

(オ) リレー種目について

- ① 「リレー・オーダー用紙」は各ラウンドにあらかじめ招集所に取りに行くこと。
- ② 招集所で受け取った「リレー・オーダー用紙」に必要事項を記入し、各ラウンドともその種目の第1組目の招集完了時刻の1時間前までに、競技者係(招集所)に提出すること。また、準決勝・決勝においても、予選に準じて招集完了時刻の1時間前までに提出すること。

- (カ) 出場種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所に提出すること。

- (キ) 混成競技の招集は、第1日及び第2日の最初の種目については、前記の招集時刻一覧表のとおり**招集所**で行う。2種目以降は、**混成競技招集所**で確認を受け、当該競技役員の指示に従うこと。

5 競技について

- (1) 当該種目出場の競技者以外は、競技場内に立ち入ることができない。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (3) トラック競技は、800m以下の種目及びリレー種目の予選を3～8レーンで実施する。準決勝・決勝は2レーンより使用する。
- (4) トラック競技では、すべて写真判定システムによる全自動計時(電気計時)を使用する。
- (5) スターターの合図は英語とする。〔On your marks〕、〔Set〕
- (6) 競技規則第162条7により、混成競技を除いて、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格とする。(競技規則第162条7、第200条8)
- (7) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても本競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、出場するメンバーのうち少なくとも2人は当該リレー種目に申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り他の競技者と交代できる。
また、リレー競技に出場するチームは、同一のユニフォームで参加すること。
- (8) 4×100mリレーの第2・第3・第4走者は、主催者が用意するマーカー(1個)を使用することができる。マーカーは、出発係が現地で渡し、そのマーカー以外は使用してはならない。
- (9) 4×400mリレーの第3・第4走者のバトンの受け渡しは、コーナートップ通過順に内側より並んで行うこと。並んで待機している走者は、この順序を維持しなくてはならず、バトンを受け取るまで入れ替わることは認められない。コーナートップの地点は、200mスタート地点内側に設置された黄旗で示される。また、4×400mリレーのすべてのバトンパスにおいては、テイク・オーバーゾーン外から走り出してはならず、そのゾーンの中でスタートしなければならない。
- (10) 3000m、5000mは、グループスタートで実施する。
- (11) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2個まで使うことができる。サークルから行う投てき競技では、マーカーを1個だけ使用することができる。このマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置くことができる。使用することができるマーカーは、競技役員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- (12) 棒高跳の競技者は、「アップライト申告書」を招集所で受け取り、自分の希望する支柱の位置(アップライト)を記入し、招集所に提出すること。提出された「アップライト申告書」は、招集所の担当競技役員が現地まで持って行く。また、その位置を変更したいときは、競技役員(跳躍審判員)に申し出ること。なお、公式練習は、バーかけ練習(ゴムバー)2回とする。
- (13) 三段跳の踏切板は、砂場から男子12m、女子9mの地点に設置する。

(14) 助力について (競技規則第 144 条)

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。
- ② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んで서는ならない。
- ③ 助言は、競技運営ならびに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、コーチングエリア（コーチ席）に限り認める。映像を見せることは可能であるが、競技区域内への吊り下げや手渡し等、競技者が視聴のため当該競技エリアから勝手に離脱するような行為は認めない。

(15) 警告について

不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては、当該競技から除外される。警告はイエローカード(混成競技の1回目の不正スタートのとき、黄黒(斜め半分形)カード)、除外はレッドカード(スタート動作時については赤黒(斜め半分形)カード)を示すことによって競技者に知らされる。

(16) フィールド競技の公式練習は2回とする。

(17) 投てき競技の計測は、科学計測装置を使用する。ただし、砲丸投については鋼鉄製巻尺計測とする。

(18) 提出書類は、下記のとおりとする。なお、T I Cは、NDソフトスタジアム山形の正面出入口付近に設置する。 ※T I C (競技者案内所) =テクニカル・インフォメーション・センターの略

	書類の種類	提出先	提出時刻
1	欠場届	招集所競技者係	招集開始時刻まで
2	2種目同時出場届	招集所競技者係	第1種目の招集開始時刻まで
3	リレー・オーダー用紙	招集所競技者係	各種目第1組招集完了時刻の1時間前まで
4	アップライト申告書	招集所競技者係	招集開始時刻に
5	投てき用具検査申請書	T I C	招集開始時刻までに
6	抗議申し立て (口頭)	T I C	競技注意事項6「抗議と上訴について」参照
7	上訴申立書 (文書)	T I C	競技注意事項6「抗議と上訴について」参照
8	記録証交付願	T I C	競技終了後随時
9	プログラム訂正届	T I C	6月15日は16時00分まで 6月16日～6月19日は8時15分まで

6 抗議と上訴について (競技規則第 146 条による)

- (1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、各県監督または当該競技者の監督により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、審判長に対して口頭でなされなければならない。抗議者はT I Cを通して抗議担当総務員に申し出ること。

なお、正式発表の時刻とは、確定した正式結果の大型スクリーン表示終了時刻とする。

- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定するが、審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、各県監督または当該競技者の監督により、預託金10,000円を添えて「上訴申立書」がT I Cを通してジュリーに提出されなければならない。

なお、「上訴申立書」の提出時刻は、その種目の結果が変更された場合は正式発表から30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、または、その種目の結果が変更されなかった場合は抗議者に対してその旨が通知されてから30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)とする。

7 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは配布された大きさのものをユニフォームの胸部と背部につけること。折り曲げたり、汚したりしないこと。跳躍競技の競技者は、胸部または背部のみにつけるだけでもよい。また、トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、下半身の横(左右後方)につけること。

リレー競技については、4×100mは第4走者のみ左右後方に、4×400mは第2と第3走者は右側に、第4走者は左右後方につけること。

また、男子5000mと女子3000m、男女5000m競歩では、左腰に「周回記録補助システム用特別腰ナンバー標識」を着けること（右には腰ナンバー標識）。

- (2) 3000m、5000m、2000mSC、3000mSC、5000m競歩では、胸背部に別ナンバーカードを使用するので、出場者は競技開始時刻1時間前までに、招集所へ別ナンバーカードを受け取りに来ること。その際、正規ナンバーカードを持参すること。
- (3) 男女とも、混成競技の最終種目では、総合順位の高いものから順番に、統一した別ナンバーカード（胸部のみ）を使用する（背部はプログラム記載のナンバーカード）。別ナンバーカードは、混成競技者係より配付する。
- (4) 「周回記録補助システム用特別腰ナンバー標識」と別ナンバーカードは、フィニッシュ地点付近で回収する。

8 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグを持ち込む場合について

- (1) 日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規程」を適用する。
それに示すサイズを超えてはならない。
- (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

9 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝については、主催者がルールに則り組み合わせ、レーン順を決定する。フィールド競技（走高跳・棒高跳を除く）の決勝については、3回の試技で上位8人を選出し、記録した成績の低い順に、あと3回の試技をする。トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順は、主競技場正面入口付近に掲示する。
- (3) トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同成績者が出たとき（以下、同成績者という）は、下記の方法で決定する。
 - (ア) トラック競技において次のラウンドへの進出者を決める場合、同成績者がありレーンが不足する時は、写真判定員主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも判定できない場合は、同成績者または代理人によって抽選する。なお、アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人がTICに來なかつた場合は、主催者が代行する。
 - (イ) 1500m・3000mSCの同成績者は、次のラウンドに進むことができる。

10 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、やりについては、通知した競技場備え付けの投てき用具リストに無いものと、1つしかないものに限り、当日検査の上使用を認める。希望者は招集開始時刻30分前から招集開始時刻まで（混成競技は競技開始の60分前まで）に、TICで「投てき用具検査申請書」により申し出ること。ただし、検査に合格した用具については、「預り証」を発行の上、一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げた用具は、競技終了後にTICで返却する。なお、借り上げた用具が破損しても責任を負わない。
- (2) 練習用の個人の用具は、競技場内に持ち込んではいならない。
- (3) 競技場に備え付けの投てき用具は、プログラム記載のとおりである。

11 記録表示について

- (1) ○ 日本高校記録 …… 白地に赤高体連マーク入り標識
- (2) ◎ 大会記録 …… 黄色に赤三角マーク入り標識

12 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

	練習	1	2	3	4	5	以降
男子走高跳	1m82・1m91	1m85	1m88	1m91	1m94	1m97	3cm 刻み
女子走高跳	1m48・1m57	1m51	1m54	1m57	1m60	1m63	3cm 刻み
男子棒高跳	3m80・4m10	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	10cm 刻み
女子棒高跳	2m20・2m70	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	10cm 刻み

天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。

- (1) 走高跳・棒高跳で最後の一人になり第1位が決定するまで上記の上げ方とする。
- (2) 第1位が同成績の場合における順位決定のバーの上げ下げの幅は、走高跳で2cm、棒高跳で5cmとする。

	区分	練習	1	2	3	4	5	以降
男子八種 走高跳	1組	1m42	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	3cm 刻み
	2組	1m63						
女子七種 走高跳	1組	1m20	1m23	1m26	1m29	1m32	1m35	3cm 刻み
	2組	1m41						

13 競技場への入退場について

- (1) 競技者の入退場は、当該競技役員の指示に従うこと。
- (2) すべての競技者は、競技終了後、競技役員の指示・誘導に従い、ミックスゾーン（Hゲート付近に設置する）を通り退場する。
- (3) トラック競技の競技者の衣類(それ以外の荷物も含む)は、ミックスゾーンに係員が運搬する。ただし、4×100mリレー出場者の衣類は、第4走者のみミックスゾーンまで運搬する。

14 表彰について

- (1) 各種目6位までの入賞者は、競技用ユニフォーム（下半身はジャージ等の着用可）で表彰を受けること。その際、入賞者控所で待機し、競技役員の指示を受けること。また、優勝者の学校の部旗を掲揚するので、優勝者の関係者はただちにTICに持参すること。部旗がない場合は、高体連旗を掲揚する。
- (2) 各種目の6位までの入賞者は、競技役員の誘導でミックスゾーンを通り、入賞者控所に移動する。
- (3) 入賞者の得点は、1位6点、2位5点、3位4点、4位3点、5位2点、6位1点とする。
- (4) 学校対抗における総合の部の表彰は、男子・女子それぞれ1位～6位まで、トラック・フィールドの部は、男子・女子それぞれ3位まで表彰する。

15 その他

- (1) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、主競技場内の救護室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (2) 記録証の交付を希望する競技者は、TICに記録証交付願を提出し、交付料金500円を添えて申し込むこと。
- (3) 届けられた遺失物は、大会庶務係で保管する。
- (4) 記録は、記録掲示板（主競技場正面入口付近）に掲示する。
リザルトは、インターネット（山形陸上競技協会ホームページ）上で確認できる。
- (5) NDソフトスタジアム山形（主競技場）での横断幕の設置は1枚1枚、のぼり旗の設置は1枚2本以内とし、スタンドの最上部のフェンスに通路や座席をふさがないように、ひもで括りつけて設置すること。掲揚ポールの使用や、個人名入りの横断幕・のぼり旗の設置は禁止する。
別ページの「横断幕・のぼり旗の設置について」を参照のこと。
- (6) 各学校のテントは、許可区域以外に張らないこと。

- (7) 棒高跳のボールの送り先は下記あてとし、下記に示している期日・時間帯を指定すること。
送り先 〒994-0000 山形県天童市山王1-1 NDソフトスタジアム山形 気付
TEL 023-655-5900 FAX 023-655-5907
指定日 6月14日(水)・15日(木) 9:00~16:00
- (8) 集団応援は他の競技に支障のないようにすること。
(ア) 競技の妨げとなる応援は禁止する。
(イ) メインスタンド・サイドスタンドでの集団応援を禁止する。
(ウ) バックスタンドでの集団応援は中段以上とし、各競技に配慮すること。
- (9) 個人情報の取り扱いに関して
(ア) 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用することはない。
(イ) 参加申込書の提出により、上記(ア)の取り扱いに承諾を得たものとみなし、氏名・学校名・学年・
県名・記録の紹介や掲示板に掲載し、本大会が認めた報道機関にも公表する。
(ウ) 本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告書・ホームページ等で公開されることがある。
(エ) 本大会が認めた報道機関が撮影した映像が、中継・録画放送されることがある。

練習会場の使用について

1. 使用日程

ONDソフトスタジアム山形(メイングラウンド)

	トラック競技	跳躍競技 (準備中・使用禁止)	投てき競技			
			砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
6月15日(木)	12:00～17:00		練習禁止			
6月16日(金)	7:30～8:00 ※男棒高 7:30～8:00					
6月17日(土)	7:30～9:30					
6月18日(日)	7:30～9:30 ※女棒高 7:30～8:45					
6月19日(月)	7:30～9:30					

○サブグラウンド・フィールド(やり投げ練習場)

	トラック競技	跳躍競技	投てき競技			
			砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
6月15日(木)	12:00～17:00		練習禁止			男女12:00～16:00
6月16日(金)	7:00～17:00					女7:00～9:00 男女9:00～16:00
6月17日(土)	7:00～17:00					男7:00～10:30 男女10:30～16:00
6月18日(日)	7:00～17:00					男7:00～10:00 女10:00～16:00
6月19日(月)	7:00～16:00					女7:00～12:00

○運動広場(投てき練習場)

	トラック競技	跳躍競技	投てき競技			
			砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
6月15日(木)	練習禁止		男女12:00～16:00	男女14:30～16:00	男女12:00～14:30	練習禁止
6月16日(金)			男7:00～13:00 男女13:00～16:00	男女14:30～16:00	男7:00～12:00 女12:00～14:30	
6月17日(土)			男7:00～12:00 女12:00～16:00	女7:00～12:30 男12:30～16:00	練習禁止	
6月18日(日)			女7:00～16:00	男7:00～16:00	練習禁止	
6月19日(月)			練習禁止	男7:00～9:00	練習禁止	

2. レーンの使用区分

◎主陸上競技場の使用区分について

- ①周回1・2レーンは中・長距離並びに競歩関係
- ②周回3～7レーンはリレーのバトンパスを含めた短距離
- ③第1曲走路からバックストレートの8・9レーンは400mH(8レーンは女子、9レーンは男子)
- ④第4曲走路からホームストレートの3・4レーンはリレーのバトンパスを含めた短距離
- ⑤ホームストレート5～7レーンは短距離
- ⑥ホームストレート8・9レーンはハードル

※競技日程、競技時間によって使用区分を変えることがある。

※主陸上競技場のフィールド内の芝生は立ち入り禁止です。

◎補助陸上競技場の使用区分について

- ①周回1・2レーンは中・長距離並びに競歩関係
- ②周回3・4レーンはリレーのバトンパスを含めた短距離
- ③第1曲走路からバックストレートの5・6レーンは400mH(5レーンは女子、6レーンは男子)
※ただし、次の時間帯は5・6レーンをリレーのバトンパスに開放する
・16日(金)9:40～12:30 14:30～16:45
- ④第4曲走路からホームストレートの3・4レーンはリレーのバトンパスを含めた短距離
※ただし、次の時間帯はスタート練習に開放する
・17日(土)8:30～10:30
- ⑤ホームストレート5～7レーンは短距離
- ⑥ホームストレート8・9レーンはハードル(基本的には、8レーンが100mH、9レーンが110mH)
※ただし、次の時間帯のみ、当日の競技を優先して変則的な使用区分になる
・19日(月)7:30～9:30は6・7レーンを100mH、7:30～10:05は8・9レーンを110mHに開放する
※第4曲走路からホームストレート付近は競技日程に応じて使用区分を変えることがあるので、係員の指示に従うこと。

3. 注意事項

- ①各種目の練習については、安全を考え十分に注意し、各学校の監督の責任において行ってください。
- ②大会参加者のアップ・ダウン及び調整練習のみの使用にしてください。
- ③危険防止のため、競技が終了した種目については、練習禁止とします。
- ④競技場が狭く事故につながる危険性があるため、レーン内での次の行為は禁止とします。
 - ・ミニハードルなど道具をレーン上に置いての練習
 - ・チューブなどで牽引して走る練習
 - ・逆走
 - ・フィールド内でのドリルやジョグなどの技術練習や準備運動
 - ・急に立ち止まる行為

選手控え場所について

1 山形県総合運動公園利用上の禁止事項について

- (1) 発電機（燃料を燃焼して発電するもの）を持ち込むこと。
- (2) 公園内施設より電源を取ること。
- (3) 火気を使用すること。（喫煙は所定の喫煙場所に限り許可します。）
- (4) 22：00～翌朝6：00までの時間帯に高校生が立ち入ること。

2 選手控え場所の使い方について

《 サブグラウンド 》

サブグラウンドの砂場ピット周辺に各県ごとにテント1張を設置し、サブグラウンドを利用する際の選手控え場所として利用できるように整備します。

【留意事項】

- (1) サブグラウンドの各県別用のテントでの場所取りはできません。学校同士で相談し合い、利用場所・方法を調整してください。

3 抽選によりテント設置(場所取り)できるエリアについて

- (1) 区画の抽選は、6月2日（金）の東北大会プログラム編成会議にて、山形県地区理事3名により行います。抽選を希望する学校は、参加申し込みと同時に指定の用紙を各県委員長に、提出をお願いします。通知は6月5日（月）に山形陸上競技協会HPで公開します。（<http://jaaf-yamagata.jp/>）
- (2) 抽選で割り当てられた区画は、6月15日（金）11：00以降使用できることとします。
- (3) 263カ所の区画を用意しています。区画した場所は、植え込み等により広さは均一ではありませんが、テント（2間×3間）が張れるスペース（6.5m×4.5m）は確保しています。※詳細は山形陸上競技協会HP参照（<http://jaaf-yamagata.jp/>）
- (4) 抽選をしてテントを設置（場所取り）できるエリアの利用可能期間及び時間は下記のとおりです。

利用可能期間	利用時間
6月15日（木）	11：00～18：00
6月16日（金）	7：00～18：00
6月17日（土）	7：00～18：00
6月18日（日）	7：00～18：00
6月19日（月）	7：00～17：00

- (5) 6月15日（木）11：00以前に場所取りされているものは、撤去・処分いたします。
- (6) 抽選により使用の権利を獲得した場所が、不要、使用しない（お帰りになる等）場合は、6月15日（木）以降、TICへ申し出てください。
- (7) 当選区域の学校間での交換は可としますが、必ずTICに通知してください。
- (8) 空きがあった場合は以下の方法で再抽選を行います。
 - ・再抽選の受付：6月15日（木）11：30～11：55 TICにて整理券配布
 - ・再抽選：6月15日（木）12：00
- (9) TICによるテント設営エリアの管理期間は6月17日（土）16：00までとします。それ以降は、区画が空いていればTICへの申告なしでテントの設営を認めます。

4 フリーでテント設置(場所取り)できるエリアについて

- (1) 上記2、3以外に、フリーでテント設置（場所取り）できるエリアは、サブグラウンド内の許可エリアになります。先着順で許可範囲内であれば面積の制限はありません。別紙地図により場所の確認をお願いします。
- (2) このエリアでは、6月15日（木）12：00以降に場所取りが可能です。（サブグラウンド開門12：00）

5 各校テント設置（場所取り）上の留意点について

- (1) 上記3、4、以外の場所にテントを設置するなど「場所取り」をすることは禁止します。
- (2) 通路を妨げる形での「場所取り」は禁止します。
- (3) 樹木にロープを結ぶ際は、樹木を折ったり、傷つけたりしないように細心の注意を払ってください。

6 その他

- (1) 「場所取り」とは、大きさや形状にかかわらず、テント、シート、マット、ひも状のロープ類、粘着性のテープ（養生テープのみ可）、荷物などを置く、などにより場所を確保し専有することを指します。
- (2) 「テント」とは、一般的なテント以外に、屋根だけを設置するタイプや、屋根無しで周囲を囲うタイプなども含めます。
- (3) 状況により、許可されている場所・期間であっても撤去または移動をお願いすることがあります。
- (4) 禁止区域に「場所取り」している場合や主催者側の指導に従わない場合は撤去または移動をお願いすることになります。
- (5) NDソフトスタジアム山形内にシートを敷く・テープを貼る事などにより場所を占有すること（場所取り）は一切できません。メインスタンド2階裏側は、雷雨等荒天時の避難スペースとして確保しています。
- (6) 一般駐車場の開場時間は6：00～22：00までです。

横断幕・のぼり旗の設置について

- (1) NDソフトスタジアム山形での各学校の横断幕設置は1校1枚とします。また、のぼり旗は1校2本以内とします。
- (2) 個人名入りの横断幕・のぼり旗の設置は禁止します。
- (3) 設置できる場所は、スタンドの最上部のフェンスに設置してください。
- (4) 設置方法については、通路をふさがないようにひもで括り付けて設置してください。養生テープ・ガムテープなどの使用は禁止します。
- (5) スタジアム備え付けの掲揚ポールの使用は禁止します。
- (6) 設置してはならない場所に設置している場合、撤去させていただく場合があります。

その他競技場の利用について

1 ごみ処理について

- (1) ごみは基本的には持ち帰ってください。なお、最終日の6月19日(月)のみメインスタンド出入口階段Aゲート（メインスタンド裏の階段のゴールライン側）にゴミ収集用のコンテナを設置します。なお、コンテナを利用する場合は、ゴミの分別の必要はありません。

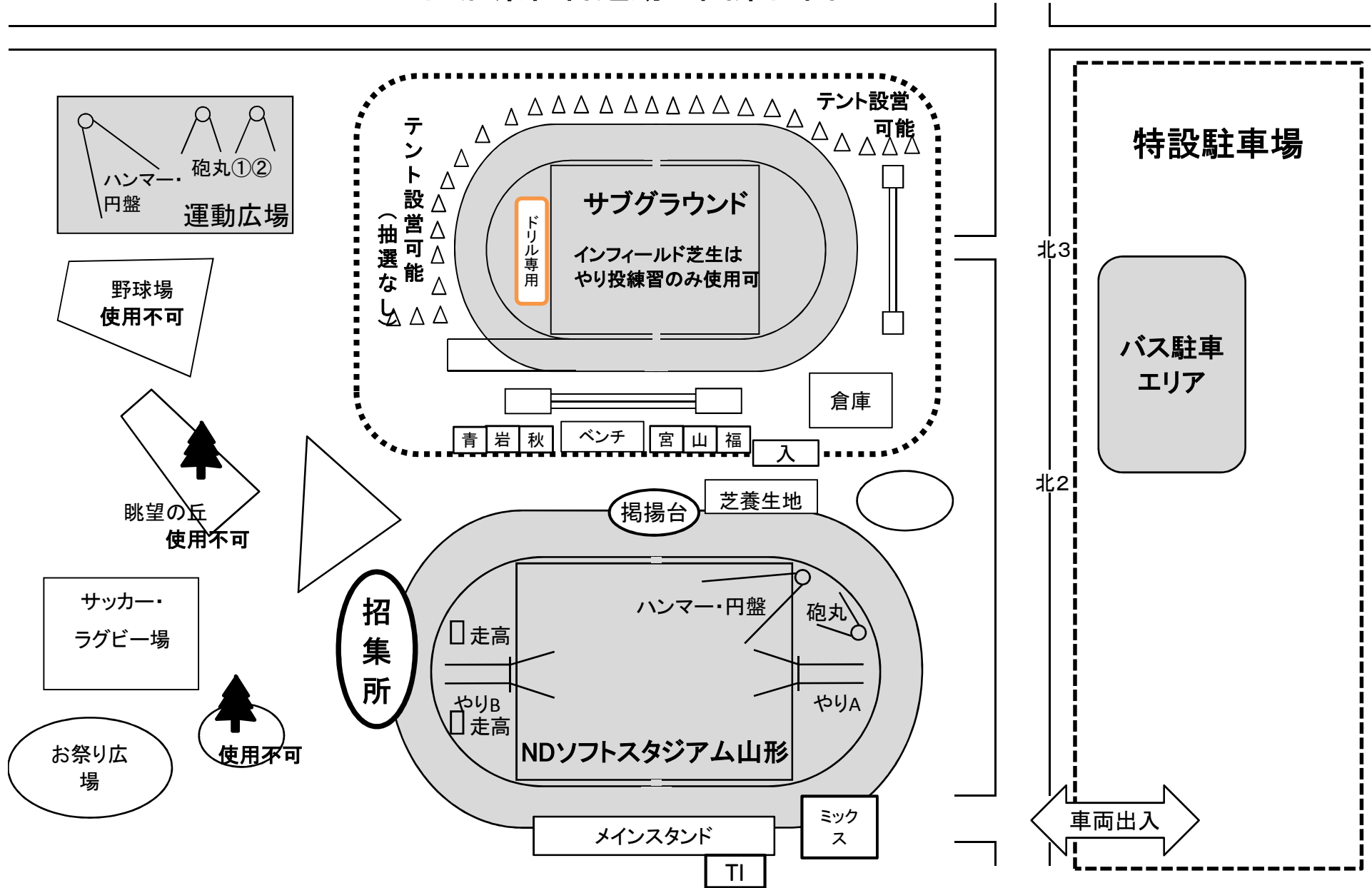
2 大型バス、マイクロバスの駐車場について

- (1) 別紙案内図を参照してください。

3 その他

- (1) 持ち物及び貴重品は、各自の責任で管理してください。
- (2) 競技場内は禁煙です。喫煙の際は吸い殻入れのある所定の喫煙所をお願いします。

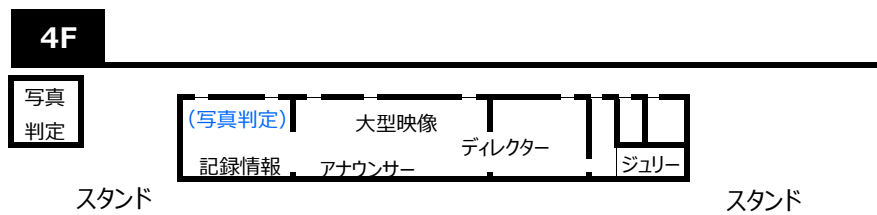
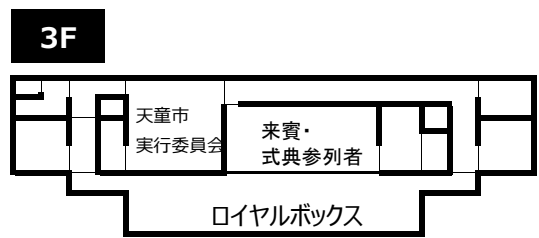
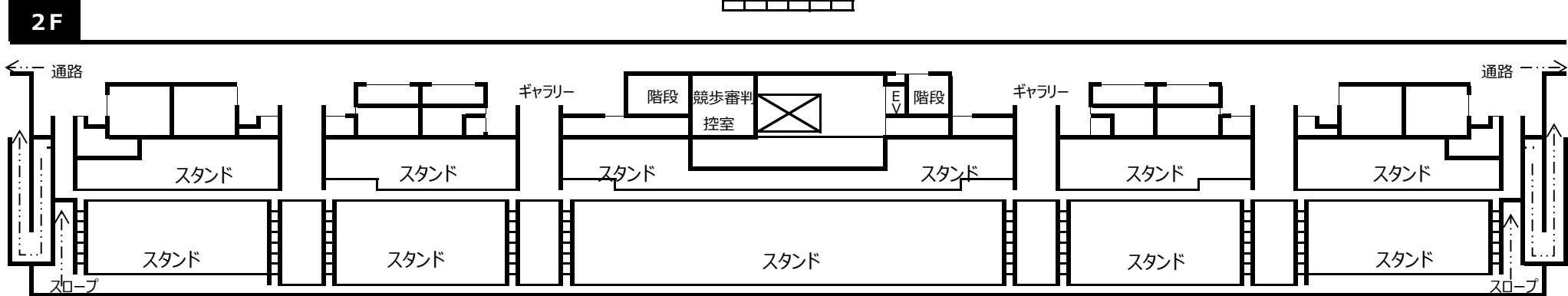
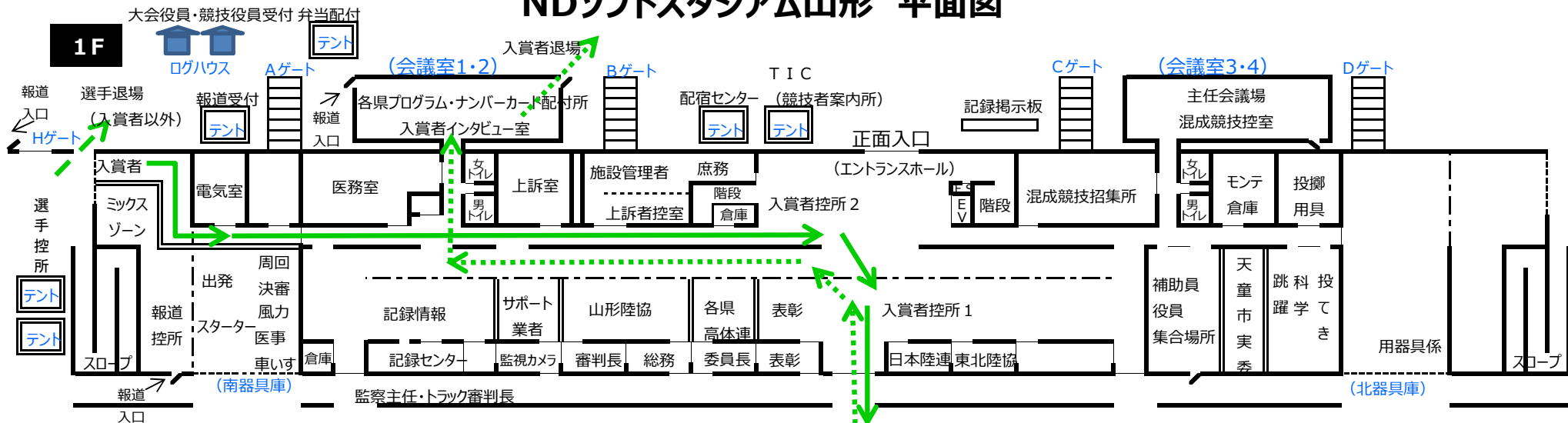
山形県総合運動公園案内図



平成29年度東北高校総体陸上競技大会 使用投てき物一覧

性別	種目	規格	品番	合計	
男子	砲丸	6.0kg ニシ 鉄 φ117.0	F291	15	
		砲丸計			15
	円盤	1.75kg ニシ SUPER φ210.5	F304B	6	
		1.75kg ニシ SUPER HM φ210.5	F334	10	
	円盤計			16	
	ハンマー	6.0kg ニシ 鉄 φ116.0	F241	7	
		6.0kg ニシ タングステン入 φ105.0	F241A	8	
	ハンマー計			15	
	やり		ニシ スーパーⅡ 90m	F452	1
			ニシ スーパーDR 80m	F453E	2
			ニシ SUPREME 90m		1
			ニシ Hybrid Wing 100m		1
			ノルディック スーパーエリート 80m		1
			ノルディック マスター 70m		1
			アポロ レーザー 70m		3
			ヘルド ノバⅢ 追い風用	C806	2
			ヘルド ノバⅡ 向い風用	C807	2
			エバーニュー Day by Day		1
			ノルディック スーパーエリート800 flex6.8	NC763A	2
			ノルディック スーパーエリートクラシック flex7	NC764A	1
			ノルディック マスター800 flex7.5	NC765A	1
			ネメトクラシック 90m	NC828	1
			ネメトクラシック 85m	NC829	1
			ニシ ロング DR 70m	F454E	2
			ニシ ミディアムΔDR 60m	F455E	2
			やり計		
	女子	砲丸投	4.0kg ニシ 鉄 φ99.0	F253A	4
4.0kg ニシ 鉄 φ103.0			F253	4	
4.0kg ニシ 鉄 φ109.0			F253C	3	
砲丸計			11		
円盤		1.0kg ニシ スーパー	F303	3	
		1.0kg ニシ スーパー HM φ181.5	F333A	12	
		1.0kg ベルグ スーパーセグラー		4	
円盤計			19		
ハンマー		4.0kg ニシ 鉄 φ102.0	F210	10	
		4.0kg ニシ タグタイル φ95.0	F210A	7	
ハンマー計			17		
やり		ニシ ミディアムDR 50m	F465	1	
		ヘルド カスタムⅢ 70m以上		1	
		ヘルド カスタムⅡ 55m~70m		1	
		ネメト クラシック 75m	NC836C	2	
		ニシ スーパーDR 70m	F463F	2	
		ニシ ロングDR 60m	F464F	2	
		ノルディック ダイアナスティール flex6.2	NC771D	1	
		ノルディック スーパーエリート flex7.0	NC775D	2	
		ノルディック ダイアナクラシック flex7.2	NC773D	2	
		ノルディック ダイアナクラシック flex7.7	NC774D	2	
ネメト クラシック 80m	NC835C	2			
やり計			18		

NDソフトスタジアム山形 平面図



- = パーテーション
- = 入賞者表彰前
- = 入賞者表彰後